

# リスクアセスメント

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		協力会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	加藤 雅人
作業名称	草刈作業(ロボカット)	作業手順書	作成年月日	2022年4月1日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	①機械運搬車 ②刈り草集積車 ※②は搬出回数が多い現場においては台数を増やす。 ③ユニック ④ロボカット		協力会社社確認	自署サイン
使用工具 機器 (大きすぎる等は 具体的な寸法を 記す)	刈払機(トリマータイプ)・フロアー、燃料、作動油、工具、ヤスリ、手鋸、ほうき、 熊手、集積用籠、梯子、手ノコ、ラチェット2本(17)、軽油 スコップ、土嚢、ゴミ袋等(※飛散防止セット)、蜂対策用品等、エビペン		元請確認	自署サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、手袋(草刈り作業時は耐切削用)、脚絆、安全帯(6m以上の高所作業はハーネス着用) メガネ、マスク、スパイクシューズ		改正年月日	2022年6月30日
免許・資格等 (免)(技)(特)(准 特)の区別を記す	①各種車両に準じた運転免許証 ②刈払機取扱作業教育 ③小型移動式クレーン ④玉掛け		作業順序	
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者1人、作業員3~5人 合計 4~6 名		1 ミーティング 「体調の確認・作業内容周知」	
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長) _____ 周知会実施日 _____ 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (役割を確認してこの作業に関わる 全員が自署サインする)		2 始業前点検「ロボカット点検項目確認」	
			3 現場到着 「現場確認・現場KY」	
			4 作業前 「安全対策施工」	
			5 作業① 「草刈作業」	
			6 作業終了 「現場確認・片付け」	
			7 現場離脱	

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△△	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する対策の指示 1=関係者に対する対策の周知			××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)				ミス・ロス	(防止対策)
ミーティング(全員)	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プラントの確認・入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検・工具の確認・積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
	体調確認	健康状態や免許・資格等の確認	病氣や二日酔いによる事故 失効状態での資格作業の実施	△	△	△	3	体温計、アルコールチェックの実施 ミーティング時に免許証等の提示
	作業箇所確認	数量、危険箇所の確認と共有、連絡事項	数量や危険箇所の見誤りを起因とした不慣れによる事故	△	△	△	3	人員構成、作業能力を考慮した作業内容の構築とリスク回避
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の動作確認	機械アクシデントを起因とした 第三者被害	△	△	△	3	単体による点検と、定期メンテナンスの実施
	周辺安全確認	近接対象、現場状況の確認	近接対象への損傷事故	○	×	○	3	近接協議の有無や、事前ケーブルチェックの実施
	安全対策・装具の確認	損傷、機能に問題が無い か確認	道具の劣化を起因とした事故	○	△	○	2	各道具の定期メンテナンスと、適切な使用方法の把握
始業前点検(担当者)								
	ロボカット点検	ロボカット動作確認	ロボカットが動かない	○	△	○	2	ロボカットの点検項目の確認
現場到着(全員)								
	責任者主導の現場確認	危険箇所の再度洗い出し	危険箇所を把握できず、滑落又は転倒	○	×	○	3	責任者と作業員、保安も含めた全員調査と意見交換
	確認内容を踏まえたKY	現地状況と安全対策に 食い違いはないか	現場状況に合わない安全対策を 起因とした事故	○	×	○	3	現地KYは現場確認、人員構成、使用道具を考慮して 実施する
作業前(全員)								
	現場に応じた安全対策	親綱等の落下防止対策	落下防止対策未実施による転落事故	○	×	○	3	親綱等の安全対策は全員で設置を行い、 期待する機能を有しているかチェックを行う。
	作業フローについて確認	担当業務の確認	作業フロー未確認による、 作業員同士による人為的故障	○	△	○	2	ミーティング、作業前、直後の3回に全体で確認を行う
	責任者と蜂調査員による現場確認(近接物の有無)、ゴミ拾いを実施							
	近接物、障害物にマーキングを実施	新たに発見した近接物は 協議書に準じる	刈払い機で露出ケーブルを損傷させる	△	○	△	2	事前調査を全員で行うこと。また図面確認し、露出ケーブルはピンクテープで注意喚起する。
	ロボカットをユニックから降ろす		積み荷の下敷きになる	○	×	○	3	有資格者の操作の元行う。
作業①								
	作業範囲の確保に伴う 草刈作業	刈払範囲の立ち入り禁止 草刈作業	刈払い作業中の方向転換時に 相手方に怪我を負わせてしまう	○	×	○	3	作業者中心から5mを危険区域とし、立ち入らせない
	特殊車両の操作は、各車両にあった資格証を携帯して 作業する事		作業中に自身、相手を傷つける	△	△	△	3	切削作業を行うと同時に、道具を振り回してはならない。
	バックカーの連続操作ボタンを使用不可にしているか。 専任者が操作ボタンを押しているか		作業中に自身、相手を傷つける	△	△	△	3	作業中は両手作業を徹底する。
	集め残しが無いよう実施すると共に排水溝等に落ちた 雑草等は回収し、フロアー等による吹き飛ばしを行い、 残しが内容に努める		作業中、熱中症で倒れる。 刈倒した草で滑って転落する。	△	△	△	3	体調管理は確実なものとし、水分補給や休憩を忘れずに摂る事 傾斜地や高所箇所の作業は、ハーネスを使用し転落、墜落を防ぐ
	ロボカットに巻き込まれる	ロボカットの前立ち入り禁 止	作業中、相手を傷つける	○	×	○	3	ロボカットの前方を危険区域とし、立ち入らせない。
作業終了								
	現場状況の確認	忘れ物の確認	忘れてきた道具が沿道に落ち、 第三者被害が発生する	○	△	○	2	準備したものと数量を、全員で確認を行う
	ロボカットをユニックに積み 込む		積み荷の下敷きになる	○	×	○	3	有資格者の操作の元行う。
現場離脱								
	現場離脱		移動中、積み荷を本線と擦れ、一般車 と接触する。	○	×	○	3	荷台の養生をネットやロープを用いて確実にを行い、複数人で 確認後、現場を離脱すること。 工事車両を撤去した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事